

みやけの風

第 173 号

平成16年(2004年)5月15日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「雨になるかも・・・」というのに、ふれあい集会にはたくさんの方が来てくれました。車椅子の人も目立ち、避難後一度も島に行っていない人も少なくないことを思いました。年を取って今は動けなくなっても、島を作ってきたのは厳しい環境の中で長年働いてきた高齢の方たちです。

みんなの声

みやけじま

風がかおる五月、三宅島に思いを寄せます。ホトトギスが鳴き、卯の花、ガクアジサイ、オヤネラミ、キイチゴの白い花たちが、初夏を告げているのでしょうか。

あの青い空と海に会いたい。山の緑は朽ちているけれど、自然界の病に人間は無力であることを、島の日々の暮らしの中で教わったのです。敬けんに充ちて、生きていることよりのよこびを教わりました。

『三宅島島民ふれあい集会』が第8回目を迎えた5月9日、避難生活四年目と長きにわたった中で行われました。

多勢の方に会えてうれしかったです。いつも送迎の車を頼っていましたけれど、今回は自力での気持ちを重んじて、途中で雨が落ちてくると、あわてて昼前に会場をあとにして、

JR田町駅へ杖歩行となりました。長い避難生活を辛抱強く前向きな私たちと、このように大きな集いを成功させるために支えてくださるボランティアのみなさん、企業や団体のお名前に目を通して、骨身にしみて帰路につきました。

5月21日の船に乗って、滞在型帰宅事業に参加するので、帰島に向けての心がまえをつくってまいります。

ふるさとで我が家で生活したい当たり前の願望に、行政の配慮と個々の事情にきめ細やかな対応が必要です。健康に留意してがんばりましょうね。

磯のかおりが、もうそこにただよってきました！
 (台東区 阿古 佐々木 美代子)

耳 寄 り
 情 報

今話題の若き二人によるジョイント・バトル・コンサート 安保克典 VS 藤岡弦太 へ三宅島の方20名をご招待

日時：2004年5月19日(水) 18:30開場 19:00開演

会場：北とびあつつじホール(地図参照)

出演：安保克則(テノール) 藤岡弦太(バリトン)

ピアノ：林川 嵩

内容：山田耕作 / 待ちぼうけ、トスティ / 最後の歌、ロッシーニ / 踊り、プッチーニ / トゥーランドットより 誰も寝てはならぬ、ヴェルディ / ドンカルロより 我らの胸に友情を 他

お申込 & お問合せ：

藤岡弦太 090-2629-3294



『第8回三宅島島民ふれあい集会』のご報告

先週の日曜日、『第8回三宅島島民ふれあい集会』が港区田町駅そばの港区立芝浦小学校・幼稚園を会場に開催されました。あいにくの雨の中ではありますが、たくさんの三宅島の方々、三宅の人たちを心配しているボランティアの方々など合わせて、前回並みの1300名のご参加をいただきました。さいわい雨もあまり強くなかったので、校庭に大きいテントを設置し、イスや机を

用意したので、五ヶ村ののぼりを目印に集まっては、島の味を楽しんだり、おしゃべりしたりとゆっくりと過ごしていただけたようでした。

みやけの風173号では、今回体育館を使って、住民総合相談窓口を開設して下さった三宅村役場と、今回始めて会場に足を運んで応援した下さった神戸市社協の方のメッセージをお伝えします。

ふれあい集会での落し物をあづかっております！

婦人モノのぼうし(みずいろ)
ノート3冊とメリーのチョコレートの袋
婦人モノのキルティングの上着(こげ茶色)

お心当たりの方は、ふれあい集会実行委員会事務局まで、ご連絡ください。 TEL : 03-3260-7573

三宅村役場相談窓口について

三宅村役場

村では、平成16年5月9日に行われた『第8回三宅島島民ふれあい集会』において、三宅村役場相談窓口を全庁体制で開設しました。

この相談窓口は、都内各所で行われた住民説明会の質疑応答を補完する形で行われ、当日は、時折小雨の降りしきるあいにくの天候

の中、36名と多くの方が来場されました。

避難生活中のことや帰島及び帰島後の生活に関する事など、様々な相談や質問が90項目にも及び行われ、島民の帰島に対する関心の高さがうかがえる一日となりました。

ふれあい集会ではお世話になりました

神戸市社会福祉協議会 スタッフ一同

震災を経験し、来年で10年を迎えた今もなお復興の努力を続けている私たちだからこそは何かなあと考えていました。

少しでも参考にして頂ければなあと思ひ、今回は神戸の復興の様子と未来への展望をたどったパネル、地元と企業で共同開発した神戸長田のぼっかけカレーをもって参加させていただきました。

開会式での皆様のメッセージには過去の自分たちが重なり、胸がつまる思いでした。しかしながら、参加されていた皆様の笑顔と元気なお声でこちらが逆に励まされたような感じがします。心の助け合いがどんなに大切か、楽しく再確認した一日でした。

いっしょにがんばろうよ、いつも気持ちはそばにいるから。

三宅島島民ふれあい集会実行委員会 代表 山崎 美貴子 様、

神戸市及び神戸市民を代表して、三宅島噴火により被災された皆様方に、心からお見舞い申し上げます。三年が経った今も、三宅島の皆様方が島を離れ、広範囲にわたって分散して生活することを余儀なくされておられることに心を痛めております。

阪神・淡路大震災に際して、神戸市民は、内外の皆様方から物心両面にわたって、温かいご支援を賜り大変勇気付けられました。

そこで、平成12年12月に、被災された皆様方の支援の一助になればと、市民、地域団体、労働組合、学校等に呼びかけ、義援金と生徒からの励ましのメッセージをお届けしました。

このたびも、三宅島支援に向けての励ましになればと思ひ、当日現地に参上し、ささやかながら市民のお気持ちをお届けに参りました。

三宅島噴火が終息し、御地に一刻も早く戻られ、御地の復興、村民の皆様方の生活再建が一日も早く達成されますよう心からお祈りいたします。

平成16年5月9日

神戸市社会福祉協議会理事長
神戸市長

今井 鎮雄
矢田 一郎